

2007年度 第1回 地質学セミナー

日時：4月17日(火)

開始時間：16:00

会場：自然系学系棟B棟 B215 教室

通常のセミナーと曜日・開始時間が異なりますので、ご注意ください。

最近のオーストラリアの鉱業の動向

石油天然ガス・金属鉱物資源機構 シドニー事務所
久保田 博志 さん

近年のオーストラリア鉱業は、急増する中国向け鉱物資源輸出など空前の資源ブームの恩恵を最も受けている国のひとつである。しかし、ウラン政策見直し、技能労働者不足と技術者の訓練教育、鉱石輸出のための鉄道・港湾等のインフラストラクチャへの対応など数々の課題も抱えている。

また、オーストラリアの大陸内陸部は、土壌や風化岩石が多く、いわゆる露頭地域は海岸沿いなどに限られ、それらの地域の多くは少なからず過去に探査が行われており、潜頭鉱床以外に新たな鉱床発見の可能性は少ないと考えられ、探鉱投資の国際的なシェアが低下傾向にある。このような状況に対して、連邦・州政府や地質調査所は、探査情報の整備を積極的に進め、探鉱投資を呼び込もうとしている。

今回は、オーストラリアの鉱業、特に非鉄金属鉱業の現状についてご紹介します。

座長：大山 広幸



連絡先：

小澤 佳奈 (生命環境科学研究科 4年)

kanaoz@arsia.geo.tsukuba.ac.jp

大山 広幸 (生命環境科学研究科 3年)

hyamah@arsia.geo.tsukuba.ac.jp

興野 純 (生命環境科学研究科)

kyono@arsia.geo.tsukuba.ac.jp